

(梅田教育長) 初めて魚沼市としての方針をお示したという会でしたので、それについては特段意見等は出ませんでした。中学校は魚沼市の方針に従ってやってきたと理解していただいたかなど。改善点等はこれからの段階なのかなという気がしていますが。補足がありましたらお願いします。

(早川管理主事) 今問題になっているのが、保護者会活動ですね。部活は部活として終わって、その夜また違うところで体育館借りてやったりとか、メンバーの子どもたちは同じということ。そういうところで部活としては決まりを守ってやっているんだけど、結局子どもたちがまた部活のメンバーが集まって外部指導者であったり、学校の先生がまた付いていたりとか。そういうところが見られるので、そういう活動をどんなふうにして捉えていくか、或いは規制を加えていくかというあたりが今後問題になるかなということ。最後になりました。

(梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。

(委員) (「ありません」の声あり)

(梅田教育長) 教育長諸報告については、以上でよろしいですか。

(委員) (「はい」の声あり)

(梅田教育長) それでは以上で教育長の諸報告を終わります。

日程第3 議案第3号 平成30年度一般会計補正予算(第6号)について

(梅田教育長) 日程第3、議案第3号、平成30年度一般会計補正予算第6号についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。学校教育課からお願いします。

(風間学校教育課長) 説明いたします。(資料により説明：日程3ページ以降、学校教育課の補正予算案について説明)

(星生涯学習課長) 生涯学習課の補正予算について、説明いたします。(資料により説明：日程6ページ以降、生涯学習課の補正予算案について説明)

(広井子ども課長) 子ども課の補正予算について、説明いたします。(資料により説明：日程8ページ以降、子ども課の補正予算案について説明)

(梅田教育長) 議案第3号について、質疑はありませんか。

(委員) 学校教育課で5ページのICT機器整備・情報教育推進事業の500万円減額のリース料は買ったんですか。

(風間学校教育課長) どちらもリース料ですので借りている分ということになります。

(堀沢教育次長) 1年分のリースを組んでいたんですけど、古いものは購入したやつだったんで、リース料はかかっておりません。新しく入れた分については半年待って新しい機種がでてから入れましたんでリース料が落ちた、半年分がいらなくなったということです。

(委員) 子ども課のほうにもあったんですが、ノロウイルス検査料の減額があったんですが、何かやり方が変わったとか。

(風間学校教育課長) 当初予算を組んだときの検査単価が、入札をかけたら1人当りの単価が半分くらいになったということです。

(委員) 生涯学習課のうおぬま放課後子ども教室事業が中止になったのは、実際にどういう事業をしようとしてそれが出来なかったんでしょうか。

- (堀沢教育次長) 受ける団体がなくなったんです。放課後児童クラブとは別口で独自にやっている事業です。いくつかの学校で手がけていたんですが、受けていた団体がもう出来なくなりましたと昨年の3月頃に話を持ってきて。それで他のところに事業をできないかと複数団体に持ちかけてみたんですけど、とてもできないということで受け手がなくて1年間出来なかったという状況です。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) 3ページの提案理由の最後の行ですが、議会の議決を経るべき事件の議案についてとなっていますが、これは事件でいいんですか。
- (堀沢教育次長) はい、間違いありません。行政言葉でそのようになっています。議会では付議事件という名前になっています。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) (「ありません」の声あり)
- (梅田教育長) 質疑なしと認めます。
議案第3号について、本案は原案のとおり承認することに異議ありませんか。
- (全委員) 「異議なし」
- (梅田教育長) 異議なしと認めます。よって議案第3号は原案のとおり承認することとします。

日程第4 議案第4号 平成31年度一般会計予算について

- (梅田教育長) 日程第4、議案第4号、平成31年度一般会計予算についてを議題といたします。はじめに学校教育課の予算案について、事務局の説明を求めます。
- (風間学校教育課長) 学校教育課の予算の概要について、説明します。(資料により説明：別冊、学校教育課の平成31年度予算案について説明)
- (梅田教育長) 学校教育課の予算について、質疑はありませんか。
- (委員) 中学校の教育振興事業で小出中学校だけスポーツエキスパート活用事業補助金がないのは何か意味があるのですか。
- (風間学校教育課長) 要求がでてこなかったということで載せていないのですが。堀之内中学校と小出中学校だけを今比べているんですけども、堀之内中学校のほうは確かにエキスパートが入っています。22万円の支出予定になっているんですけども。小出のほうは要求として上がってきていなかったことから、スポーツエキスパートとしての補助金申請はやる予定はないこととなりますし、スポーツエキスパートにつきましては書類的には学校から魚沼市教育委員会を經由して県に行くんですけども、要求がないことにはという状況です。学校ごとに色々ありまして、小出中学校についてはスキー授業のコーチ謝金等はこちらの教育振興事業のほうで要求しているというような状況です。
- (委員) 小出中学校のほうに一応確認してみる必要はないですか。
- (風間学校教育課長) 確認はできているはずなんですけども、もう一度確認してみます。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。

- (委 員) 3 ページの右側の下から 4 番目の黒点のところですが、平成 31 年度より中学校の部活動の大会が都市大会を廃止し、地区大会なしで中越大会へ進むため部活動大会出場費補助金の増額が必要であるということは、地区大会なしで中越大会に直接ということだったら、地区大会がない分減額になるのかなと思ったら増額になっているというのはどういう理由なんですか。
- (風間学校教育課長) 大会に行くときは、交通手段としてほぼこの学校もバスを使っています。特に中越大会になりますと柏崎に行ったり、見附に行ったり、長岡に行ったりという形になります。今までは都市大会で選ばれた部活が行っていたんですけども、31年度から全部の学校の全部の部活が行けるっていうか、そこからしか大会が始まらないんで、いわゆる交通費にお金が余計にかかる見込みだということです。
- (委 員) このふるさと結基金繰入金というのは。
- (堀沢教育次長) ふるさと納税になります。
- (委 員) 教育委員会で使える金額はどのくらいありますか。
- (堀沢教育次長) 平成29年度で5億円位ありましたが、そのお金を翌年度に使うという形になります。5つくらいの項目に分かれていまして、子どものために使ってくれとか5つくらいの項目があって、例えばその5億の内子どものために使ってほしいという希望を持って寄附されたお金が例えば5,000万円ありました。その5,000万円を教育費のどこかに配分すると、そのほかは市長にお任せしますよというところが一番袋が大きくなるんですけど。5億円の内2億円がそれでしたということになると、市長が考えたところに配分できるので、教育費のほうにも幾分かもらってこれると。今年度例えばスクールバスを買っておりますが、そういったお金もふるさと寄附からもらって買っているみたいな感じですね。
- (委 員) ふるさと結基金の予算に関しては、子どもたちや教育関係で使ってくれという前提のもとで納税されているのが教育委員会関係ということなんでしょうが、それ以外の部分については希望するほかの課もあると思うんですが、そのへんの割合は。
- (堀沢教育次長) いわゆるお金を充当するだけの話ですので、例えばのところうちがここに1億円の予算がほしいと要望するお金と一緒にです。ただし、お金が無いといわゆる貯金を取り崩してそこに持ってこないとならぬとか、全部予算が通るとしたら、そういう状況でどこかでお金を見つけてこなくてはならないのですが、ふるさと寄附金のほうでその内いくらかのお金はここで賄えるといっているだけであって、特段必要なお金が膨らんだ訳ではないです。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) 7 ページのスクールガードの方の防犯グッズというのは、どんなものですか。
- (堀沢教育次長) ベストや帽子といったものです。
- (委 員) 6 ページの現状と課題のところなんですが、学校の長期休業中の A L T の活用が課題であるということなんですが、今現在はどんなふうな扱いなんでしょうか。
- (吉田統括指導主事) A L T は夏休み中は学校に行って打合せとか教材研究という形で、2学期以降の準備等をしたりして過しています。
- (堀沢教育次長) 保育園に行っ子どもたちと交流したり、英語で交流したりしているようなこともあるようです。

- (委 員) そこにはお金が発生するわけですね。
- (吉田統括指導主事) 勤務ですので賃金が発生します。
- (委 員) 栄養士を1人増やしたということですが、現在魚沼市に栄養士は何人位いらっしゃるんですか。
- (風間学校教育課長) 1人というのは入広瀬小学校に予定しています。今までは共同調理場だったんで県費の栄養士がいたんですけども、どう考えても入広瀬小学校だけですと1日50食いかない給食を作るような感じになりますんで、県のほうでつけてもらえないだろうという予測のもとに。今現在小出中学校も栄養士がいるんですが、市のほうで雇用している栄養士になります。
- (委 員) 2人になるということですか。
- (風間学校教育課長) 市で雇う栄養士が2人になる予定です。
- (委 員) 16ページの防犯カメラの設置事業についての予算を計上されていると思いますが、市内の全小中学校に取り付けるということですか。
- (風間学校教育課長) 全ての小学校、中学校、保育園、こども園、学童の出入り口です。
- (堀沢教育次長) 児童、生徒玄関、教職員玄関だけになります。今現在付いていないところについて、全部その玄関だけは設置するということなので、子ども課と併せて小学校、中学校と保育園系と学童系併せて4,000万円の予算を計上させてもらっています。小学校、中学校併せて2,910万円、残りの1,090万円が子ども課で総額で4,000万円という金額になります。この度の補正予算のときに予算的にはでてこないんですが、国でいうところのゼロ国といわれるところで、債務負担行為というので来年度の予算を確定してもらって、3月中に契約までこぎつけたい。予算はあくまでも4月に入ってから使うということですので、契約までやって工事に入っただいて、支払を新年度予算で支払うという形になります。あと1箇月位のうちに契約までは済ませたいと考えています。
- (委 員) 中には既に設置されているところもあるんですね
- (堀沢教育次長) 保育園と学童のほうでは設置されている場所もあります。学校は無いです。
- (委 員) 私立の保育園、幼稚園はどうでしょうか。
- (広井子ども課長) 調べていないです。
- (委 員) これの該当に入っていないということですね。
- (堀沢教育次長) 入ってはいません。これはあくまでも民間施設です。
- (委 員) 入広瀬小学校管理事業の児童数・学級数のところで1年生が1人の予定になっていますが、1人入学者がいることになったんですか。
- (風間学校教育課長) この予算要求を作る段階では、学区外申請の結論が出ていませんでしたので、あくまでも予定数という形でここに載せさせていただいてあります。今現在の入広瀬小学校の予定は3年生からになります。3年生から6年生までで26人の予定です。
- (委 員) この予算要求額と前年度の予算額がありますが、前年度は要求額だった金額ですか、補正の予算を組んだ後の金額ですか。
- (堀沢教育次長) 当初予算です。予算書で確定した数字です。したがって予算と予算を比べているということです。
- (委 員) 補正で大きい補正があったところだと金額がずれるわけですね。

- (堀沢教育次長) そういふことです。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) (「ありません」の声あり)
- (梅田教育長) しばらくの間、休憩とします。
- 休憩 (14:47)
- 再開 (14:55)
- (梅田教育長) 休憩を解き、会議を再開します。
続いて生涯学習課の予算案について、事務局の説明を求めます。
- (星生涯学習課長) 去年より延びた事業については説明させていただきますが、ほぼ微増ですとか減になったところについては説明は省略させていただきます。(資料により説明：別冊、生涯学習課の平成31年度予算案について説明)
- (梅田教育長) 生涯学習課の予算について、質疑はありませんか。
- (委員) 下条プールと広神プールはどこにありますか。
- (星生涯学習課長) 広神プールは広神中学校のグラウンドの端っこの下段の川沿いにありますが、ほぼ見えないです。
- (委員) 広神中のプールだったのでしょうか。
- (星生涯学習課長) 昔は村民プールのような形で使っていたのではないのでしょうか。今、中学校はプール授業はしていません。
- (星生涯学習課長) 下条プールの場所がどこかが。
- 【しばらく懇談的に意見交換】
- (星生涯学習課長) ふたば西保育園のところに下条プールがあるそうです。
- (堀沢教育次長) 野球場の下ですが、ふたば西保育園のところにるのが下条プールだそうです。
- (委員) リフレッシュハウス湯之谷ってどこですか。
- (星生涯学習課長) 薬師球場の上段に建物があるのが分かりますか。
- (委員) 分かります。
- (星生涯学習課長) あれがリフレッシュハウスです。
- (委員) 13ページの図書館管理運営事業のところですが、図書館システムのマイナンバーカード対応作業委託料、これはいつものオレンジのカードでないマイナンバーカードでも借りれるということですか。
- (星生涯学習課長) そのとおりです。市としてもマイナンバーカードがなかなか普及しないということで、関係課を集めまして相談した中で生涯学習課は何が出来たのかといったときに、図書館のカードとして図書カードと同じなんですけども、それを持っていけば利用できるシステムがあるんですけども、それを導入すればそういうのも使えますよと、そういう形でマイナンバーカードを普及したいということもありまして。
- (委員) それはこの間話した定住自立圏で、南魚でも借りれるというようなことは。
- (星生涯学習課長) そこまでは聞いていないです。

- (委 員) でもそれにはなりそうな感じのものなんですか。
- (星生涯学習課長) なるかもしれませんぐらいしか言えないんです。それぞれの地域でそれぞれ発行する図書カードを利用する形で進めさせていただいています。マイナンバーカード利用可能になるかもしれませんが、そこまでの意思統一は図っていないので。とりあえず魚沼市はそういうことで進めようということなんです。
- (梅 田 教 育 長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) 学校教育課のほうの16ページですが、20節の扶助費の就学援助費のところで、経済的困窮世帯への就学に係る費用の助成ということで210人分と記載してあるんですが、経済的困窮世帯を認定するのはどういう方法で認定しているのか。そしてこれが仮に認定された世帯は、これは全員機械的にそういう方々に助成する形になるんですか。それともその中で希望とか申請書とかを上げた人に対してか。実際に扶助する場合はどういう形になるんですか。
- (風間学校教育課長) まず、申請を受けて審査をします。今現在の時点で31年度の申請を受け付けている状況です。経済的困窮については、いわゆる課税所得を全て確認をして、子どもの人数、親の人数で表がありますのでその表に基づいて該当するかしないかで判断させてもらっています。内容的には学用品分で1年間で1万とか2万とか、学年によっては修学旅行費の分、それからスキー道具については小学校で低学年で1回、高学年で1回、中学校は3年間ですんで3年間で1回というような形でスキー道具を買うときの金額です。
- (委 員) 借りないんですか。
- (風間学校教育課長) 借りの分については、就学援助はなかったと思います。
- (委 員) 本人への通知はどのような形で、今言ったような形で確認をして該当する人に。
- (風間学校教育課長) 小中学校の保護者には全部案内を出しています。
- (委 員) 事前調査とか該当する人しない人関係なく全員にですか。
- (梅 田 教 育 長) PTA総会とかで、就学援助については様式があるのでという説明はしています。
- (風間学校教育課長) 様式全てを全員には、やっていないです。市報にこの時期出して申請を受け付けるという形にしています。
- (梅 田 教 育 長) 学校の担任の先生に言えば、用紙はもらえるとそういうことはやっています。
- (委 員) そういう情報を得た保護者が自分に該当すると思われて、なおかつ申請しようという意思がある人が申請書をあげて、それを審査結果を経た上で該当になるかならないか。
- (風間学校教育課長) 申請があった人全てについて、該当するかしないか通知を出しています。給食費もその中に入っています。
- (委 員) 完全に該当すると思われる人であっても、本人が申請しない限りはこれは受取っていないということですよ。
- (風間学校教育課長) そうですね。ただ児童扶養手当該当世帯等には案内はしていますんで。それでも該当すると思われる人が100%ですかと聞かれば、はいとは言えないと思います。
- (委 員) 本人の意思でそうしているというふうに見なしていいわけですね。

- (風間学校教育課長) 情報については全ての人に渡っていると考えています。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) 学校教育課の56ページ堀之内中学校調理場管理事業に関するところですが、本年度予算額が3,307万円、事業概要を見ますと教職員、生徒含めて合計256人ということで、ざっと見た感じ該当の人数に対して予算額が他の学校と比べてだいぶ多いかなという感じがするんですが。その他の特記事項の中で色々経費が掛かっていることは分かるんですが、それにしても人数と予算額を比べると突出しているかなという感じはするんですが。
- (堀沢教育次長) 堀之内中学校につきましては、堀之内町当事から業務委託されております。ここに括弧の中に石本商事職員と記載がありますが、この石本商事というところに業務委託されております。したがって給食調理するという部分は、業務委託で作られているということになります。ほかの学校ですと、この調理場管理事業のところには職員賃金は入っていないと、給食場管理事業の中に一括でそういった金額は入っていると思われるんですが。そこには堀中の給食調理の人間の数は入っていないと、そのかわり業務委託の委託料が入っているという形になります。
- (風間学校教育課長) 人件費が堀之内中学校だけ入っているんです。いわゆる業務委託の中に人件費が入っていますんで。ほかの学校は全て調理員の人件費はないということで、堀之内中学校だけ突出して多いということです。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) 生涯学習課のほうの5ページですが、学校支援地域本部は現在4地区に開設されているということですが、地区名と本部があるところはどういう事業をやられているんでしょうか。
- (星生涯学習課長) 無いところは入広瀬と湯之谷です。入広瀬と湯之谷を除いたほかはあります。それで4地区になります。内容については、後ほど確認させてください。
- (委員) その2つの地区がどうしてないのか、分かればお願いします。
- (星生涯学習課長) あえて強制をするわけでもないんですけれども、こういう事業がありますけどもという話はずっとしているんですが。学校のほうがあえて求めてこないということでご理解いただければと思います。
- (梅田教育長) 例えば学校行事の中で中学校区でやっていますから、1年間の学区の行事一覧だとか、この期間は中学校の期末試験なので小中一斉にこの期間は家庭学習強調習慣にしましょうとか、そういうふうな連携でポスターに使ったり、小中連携の事業として講師を呼んで研修をしたり、そんなような形でお金を使っているんでしょうかね。
- (委員) 地域のコーディネーターが1人いらっしゃって、そこでPTAの役員とか地域の民生委員だとか何人か、学校評議員とかの方とか何人かが集まって、その中で各学校への支援、地域に合った支援をしたりしていました。
- (梅田教育長) 広神中学校では、放課後の帰るまでの間、数学あたりを講師を派遣してそこで数学の勉強を教えたり、講師料に充てたり色々工夫しています。
- 【しばらく懇談的に意見交換】**
- (星生涯学習課長) 私のほうでほかの学校でどんなことをやっているか、資料をお配りできればと思います。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) (「ありません」の声あり)

- (梅田教育長) 続いて子ども課の予算案について、事務局の説明を求めます。
- (広井子ども課長) 子ども課の31年度の予算について、説明させていただきます。(資料により説明：別冊、子ども課の平成31年度予算案について説明)
- (星生涯学習課長) 先ほどの資料といえますか、実際に小出地区学校支援本部でやっている例えば運営委員会の名簿や活動の内容、こんなことをやっているということで見ただけだと思います。ほかの学校さんもあくまでも中学校区になりますので、小学校、中学校の関係で今これは小学校になってますけど、中学校のほうもこういう形で何か事業を展開するんじゃないかと思えます。やはり地域が中心になって、コーディネーターさんと学校と地域がこの活動を展開をしていくんだといったようなことで、進められておるようであります。積極的に湯之谷と入広瀬に進めてはいないそうですが、ご案内はしていると、逆に湯之谷と入広瀬はやっていると。恐らく補助金は、だんだん国のほうも引きあげていく可能性があります。既にやっているとこをあえてそこまでというところも。お金を目当てにやってしまうとそれが無くなると尻すぼみになりますので。逆に先進的な活動をしているということも言えるのかなと。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) 生涯学習課の25ページの文化振興事業に関するものですが、現状と課題のところ(1)の下段に内容の検討を要する意見が多くなったのでありますが、例えば具体的にどんなような意見が出されていきましたか。
- (星生涯学習課長) 今回話が出たのが、いわゆる洋画、日本画という区別がなかなか何をもってするのかというのがあって、来年15回は絵画ということで1本化する方向に。結局今年日本画はなかったんですよ。日本画部門の賞もあったんですけども、結局日本画というところに属するものがなかったの、今年の賞は無かったんですけども。いわゆる洋画と日本画って単純ではないみたいで、逆に広く取ってやったほうが部門として、絵画部門としての位置づけにしたほうがいいんじゃないかなということはありません。出品数は減ったけど観覧者は増えました。市の美術展には出さないけれども、県展とかもっと上の段階に出す人はいるんですよ。そこに出してしまうと、ほかの展覧会に出せないということもあったりして。文化協会の中でも優秀な人はいっぱい市内にいらっしゃるんですけど、逆にあえてここには出さないでという人も恐らくはありますんで。結局1回賞に入ってしまうと、別の賞には当然応募できないっていうのがあるので。逆に今回もあったのが2つ出して上の賞を取ったのはいいんですけど、入賞は取下げてくださいというのがありました。ここではそんなふうにしただけ認められなかったけど、他のところに出せば認めてくれるかもしれないから入賞を取下げてくださいというのがあって。そうになってしまうと何のための美術展なのと、本当に皆さんから見ていただいて、当然評価者はプロの方を呼んで評価してもらおうんですけども、賞を取るだけの美術展ではないんですよという問題もあったことも事実です。
- あとは締切を過ぎて出したのを担当者が受けてしまったのが賞に入ってしまったんですよ。これも内部的なことなんですけども、そんなことがありました。決して美術展そのものが悪いということではなくて、これから続けていくんだけれども、そういった決まりごとはしっかりやろうねということと言われております。反省会で私が覚えているのはそんなところです。それと色々な皆さん方の意見を聞きながら進めていこうということだと思うんですけども。
- (委員) 美術展というのが市の段階、或いは県の段階、或いは国の段階があると思うんですけど、例えば魚沼市の美術展で入賞しても、例えば県展とかは。
- (星生涯学習課長) 出せないと思います。そういう分野は、どこかで入賞したものは。
- (委員) 他の市町村でも同じ対応を取っているんですか。

- (星生涯学習課長) そうだと思んですけども。どこかで何か取っていると、それはダブルでは出せないみたいながあると。
- (委 員) 他市町村でも同じ現象が起きているというふうに考えていいわけですか。
- (星生涯学習課長) 逆に1つあるのがいわゆる賞から外すんですよ、最初から。賞には属さないけどあなたの絵はすばらしいから出してくれという、そういうやり方もやっていますね。賞はやらないよと、そのかわり出してくださいと、すばらしい絵なので。そうしないと上のほうに出せなくなるので、あくまでも皆さんから見てもらおうということでそこに出してくださいと、そのかわり賞からは外しますよと、それだけのことを認めるということです。そういうなんとか会員みたいな形で、南魚はやっているところもあります。魚沼市もそっちの方向にいくかどうかというのを、先ほどの実行委員会の中では話が出ています。まだちょっと早いんじゃないかという人もいますし、同じ人が何回も取るようだとその人はもう賞から外して、でも出品はしてくださいというような形で、お願いするような形にもっていったらいいなという話も出ています。
- (梅 田 教 育 長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) 予算とはあまり関係ないんですけど、児童手当は市内漏れなく、全部給付は間違いなくされているのか。魚沼市ではないですけど、漏れがあったとか聞かないわけではないので。
- (堀 沢 教 育 次 長) 児童手当という性格上、お子さんがいわゆる戸籍上に入ってくると。児童扶養手当になってくると少しあやしいとこがでるかもしれませんが、児童手当自体はあんまり落としは無いのかなと。
- (広井子ども課長) 今年度特例給付の関係で、公務員の場合は職場から支給手当が出ることになっているんですけど、職場との意思の疎通がうまくなくて、もらい損ねていた方がいらっちゃって。そういう方が1件ありましたけどもなんとか遡及して出したようなことがありましたけれども、出生に伴って必ずこちらは手続きします。
- (委 員) 7ページで非常勤職員の比率が非常に高くなったということで、13人増という話でしたが純増で13人ですか。
- (広井子ども課長) 予算の要望の段階ですけど、13人分の予算要求を純増でしました。
- (委 員) 退職者が非常勤とかになるとかそういうことではなくて、13人を増やせる予算を取るといふ。
- (広井子ども課長) そうです。ただ、今おっしゃったように正職の調理員とかが退職すると、その分は今度非常勤となるのでそういった賃金も入っています。
- (委 員) それを含めてですか。
- (広井子ども課長) それを含めて13人分です。
- (堀 沢 教 育 次 長) いわゆる子どもの数自体はそんなでもないにしても、未満児を預ける方が増えているので。そうすると1人の保育士が見れる数っていうのが、0歳児だと3人、1歳、2歳だと6人までしか見れないだとか、そういったきまりもあるんで。そういう子たちが増えていくと、どうしても数を増やしていかないと対応できないという形になりますね。
- (梅 田 教 育 長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) 5ページの母子生活支援施設措置事業なんですけど、読んでみると増えたりしているふうでもないけども予算額は増なので、どんな感じの割合になるかなと。

- (広井子ども課長) この母子生活支援施設というのは県内に何箇所もない施設なんですけど、ここに入所措置するといわゆる請求がくるんですが、その単価が上がっているんで予算も連動して上がったということです。
- (委 員) もう一つよろしいでしょうか。19ページで学童保育管理事業の中で、特定財源の内容で学童保育バス遠足保護者徴収金、遠足があるんですか。
- (広井子ども課長) はい、あります。夏休みとかが多いかなと。
- (委 員) それって全学童ですか。
- (広井子ども課長) たしか入広瀬とかは行っていなかったような気がしますけど、結構学童さんは行っています。
- (梅田教育長) はい、高橋委員さん。
- (委 員) 8ページの事業概要のところ平成30年度の園児数とありますが、これは31年度ですよ。
- (広井子ども課長) 31年度の間違いです。大変失礼しました。
- (委 員) 全体をみてみますと保育園関係は非常に今厳しい状況に置かれているというのが、この予算要求の中の右側のほうの部分を読んでも痛いほど伝わってくるという感じがするわけなんですけど、そうした中で、確かに市の予算として限られた予算の中で保育事業を最大限考えた中で配分はされているんだろうけど、非常に厳しい状況にあるというのは見て取れるわけなんですけど、そうした中で、今現在いわゆる保育事業の私立民間委託の話が出たわけなんですけど、その辺を見越した中でどんなもんかなという感じがするわけですよ。民間の意向ということを今後考えた中で、民間の方に受けてもらえるという予想といいますか、あてがっての。
- (堀沢教育次長) ありません。今現在民間に声をかける段階にまだなっていないということもありまして。昨年度の3月にいわゆる答申をもらいました。私立に移行するんだということでもらっています。今年度子ども子育て会議はあるわけですけど、これから委員さんを出していただいて本格的な検討に。前回は答申であって保育園の名前も出ておりませんし、今度は本気で園の名前を出さなくちゃならんんじゃないかと思うところになるかと思うんです。何年後を目指して1園、その次はまた1園とか。職員の数自体がもう保育園全体で、給食調理だってもう全部非常勤という現場もありますし。庁務員も正職員は何人もいません。保育士も非常勤のほうが数が多いというふうな状況になっていますので、公立の園が例えば今の8から4に減ったとしても、全部職員を集めてきてもまだ非常勤を若干雇わなければ運営できないぐらいの数しかもう実際いません。そういった中で本格的に民営化、委託ではなくて民営化という方向に移らなければならないと思います。まだどこどこという形でというのが決まっていないうちでは、市内で手を上げる方いますかなんていう話もとてもまだ出来ない状況ですし、そういったのが固まってから出して果たして手を上げる方が市内にいるのかいないのか、その辺も今後の話になってくると思います。
- (委 員) 今の段階では、特にあてがって民間の話を出しているそういう状況ではないということですね。
- (堀沢教育次長) はい。一応計画を作り、それに向って手を上げるところが市内にいるのかいないのか。市内にいなかったら次はどういうステップを踏むんだという動きになるかと思っています。県内まで手を広げるのかとか。
- (委 員) 前の資料の中に或いは民間の業者の一つの中に含まれるとか。候補として社会福祉協議会ですか。

(堀沢教育次長) 今現在の中では、魚沼市の社会福祉協議会はやりませんという話をいただいています。出来ませんというのが正しいと思います。小千谷市はそちらです。

(委員) そっちのほうの見込みはゼロというわけですね。

(堀沢教育次長) 今現在ゼロです。

【しばらく懇談的に意見交換】

(梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。

(委員) (「ありません」の声あり)

(梅田教育長) 質疑なしと認めます。
議案第4号について、本案は原案のとおり承認することに異議ありませんか。

(全委員) 「異議なし」

(梅田教育長) 異議なしと認めます。よって議案第4号は原案のとおり承認することとします。

(梅田教育長) しばらくの間、休憩とします。

休憩(16:07)

再開(16:15)

(梅田教育長) 休憩を解き、会議を再開します。

日程第5 協議事項 奨学生の決定について

(梅田教育長) 日程第5、協議事項、①奨学生の決定についてを議題とします。事務局の説明を求めます。

(風間学校教育課長) 小幡主任から説明します。

(小幡学校教育課主任) 平成31年4月から奨学金の新規貸付を開始する奨学生の募集結果につきまして、ご報告します。(当日配布資料により説明：募集結果及び資格審査結果について説明)

(梅田教育長) 協議事項①について、質疑はありませんか。

(委員) よろしいでしょうか。市の奨学金は、県とか国とかの奨学金を受けられない、或いは受けていないことが条件になるんですか。重複して受けることは出来ないということなんですか。

(小幡学校教育課主任) そうですね、日本学生支援機構の無利息の奨学金を借りている方は、重複は出来ないというふうにさせていただいています。支援機構にも利息付きの奨学金もあるんですけども、それとの併用はいいんですけども、両方無利息のものを2つ借りるというようなものは認めておりませんので、どちらかを取っていただくような形になります。

(委員) 有利息のものであれば併用も可能であるということなんですね。

(小幡学校教育課主任) どうしても足りないという場合は。

- (委 員) それで非常に気の毒な方だと思われるのが、最後の25番の方なんですよね。恐らく成績判定のほうで残念ながら規定に達していなかったということが、原因ということだと思われるんですけども。3以上ということですから、わずか0.1足らずということで、それほど大きな開きは無い。わずか0.1の差で非常に気の毒だと思ったわけなんですけども。で所得のほうを見ますと認定所得、或いは家族1人当りの所得を見てもどちらもマイナスになっているわけですので、なんとか市の奨学金は仮に規定上だめだとしても、何かほかの奨学金でこの方が該当できるようなそういう奨学制度というのはあるんでしょうか。
- (小幡学校教育課主任) 学校によっては学校独自の奨学金がある学校もありますので、認定になりませんでしたという通知の際には、学校の奨学金がある場合があるということと、市の奨学金も来年また申請していただければ今度は進学後の学校での成績要件での判定になりますので、よろしければ申請してくださいというようなご案内を付けて通知をしております。
- (委 員) そういう温かい対応をしてもらえれば本人もね。
- (小幡学校教育課主任) どうしても0.1なんですけども、どこかで線を引かなければいけないので。
- (委 員) 止むを得ないことだと思いますので。分かりました。
- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) (「ありません」の声あり)
- (梅田教育長) 質疑なしと認めます。
協議事項①について、承認することに異議ありませんか。
- (全 委 員) 「異議なし」
- (梅田教育長) 異議なしと認めます。よって協議事項①を承認することとします。

日程第6 報告事項

①後援依頼

- (梅田教育長) 日程第6、報告事項、①後援依頼について、報告をお願いします。
- 【以下、日程18ページ以降資料に基づき報告】
- (星生涯学習課長) ①後援依頼3件について報告
- (梅田教育長) ①後援依頼について、質疑はありませんか。
- (委 員) 24ページの文化祭開催要項のところなんですけど、8の出品数が絵画1点というのは、1人に対しての数ということで考えていいんですか。
- (星生涯学習課長) はい、そうです。実は色々意見もあったというのは、文化協会の中でもあったんですけど、これは文化協会の会員なんです。一般の人はだめなんです。なんでせっかく20周年やるのに、まさに普及振興に務めるということがあるにもかかわらず、協会員だけでいいのという声もありました。せっかくであれば一般の方も20周年記念事業なんだけれども、文化協会の会員だけではなくて広く市民の方に呼びかけたらどうかなという声も確かにありました。それに賛成する声もあったんですけども、最終的にはあくまでも文化協会として行なう事業なので、結論はあくまでも協会ということになりました。会場は2会場ということで限られていますので、通常行なわれる魚沼市の各地区文化祭も並行して行なわれますので。一般の方はそちらにも当然出せますので、展示をする場所としてはそちらのほうに出すことは出来るんですけども。

- (梅田教育長) ほかに質疑はありませんか。
(委員) (「ありません」の声あり)
(梅田教育長) 以上で報告事項を終了します。

日程第7 その他

①その他

- (梅田教育長) 日程第7、その他、①その他について、説明をお願いします。
(風間学校教育課長) 前回もお話させていただきましたが、小中学校の30年度の卒業式、31年度の入学式への出席についての依頼であります。(資料により説明：日程26ページ以降、各小中学校の卒業式・入学式への出席について依頼)

【しばらく懇談的に日程調整】

- (梅田教育長) 続いて、教職員の辞令交付式への出席について、説明をお願いします。
(早川管理主事) 今年度、来年度の辞令交付式の出席についてということでお願いします。(資料により説明：日程28ページ、平成31年春の辞令交付式への出席について依頼)
(梅田教育長) それでは年間の予定表について、説明をお願いします。
(早川管理主事) A3版の資料をご覧ください。(当日配布資料：平成31年度魚沼市教育委員会年間行事予定表について説明)

【しばらく懇談的に日程確認】

- (堀沢教育次長) この場で1点お話をさせていただきます。(平成31年4月1日からの市役所組織機構改編について説明)
(梅田教育長) ①その他について、ほかにありますか。
(委員) (「ありません」の声あり)
(梅田教育長) それでは以上で①その他を終了します。

②今後の会議日程

- (梅田教育長) 第2回臨時会を2月25日、午後6時00分から堀之内庁舎で開催することとします。
第3回定例会は3月22日、午後3時00分から堀之内庁舎で開催することとします。
(梅田教育長) それでは以上で②今後の会議日程を終了します。

閉会宣言

- (梅田教育長) 以上で日程を終了することとし、本日の委員会を閉会といたします。

終了時刻 午後 4 時 45 分

以上の記録は、書記が整えたものであるが、その正確であることを証して署名する。

教 育 長

会議録署名委員